

例会報告



第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人



「おなじ星を見ていた - ギアリングスの架かる虹-」より
港の空 内田 新哉

<会長の時間>

今ほどは出前講座、出席された皆様ご苦労さまでした。

今回で5回目となりますので、もうベテランの様な方も見える事と思いますが、それでも子ども達を前に話をするという事は、あまり無い機会なので、難しい処も有ると思います。そして話すためには、準備もいります。多くの時間を割いて頂いた事と思います。有難うございました。



また、講師はやられないけど中学校まで足を運んで頂きました皆様もご苦労様でした。普段あまり入る事のない校舎や授業風景を見られて、少し懐かしく感じられたのではないのでしょうか。出前講座をどんな風にやっているのか見て頂けて良かったと思います。この後4人の方に授業の様子を話して頂きますので宜しくお願いします。

さて、この子ども達にはどんな未来が待っているんだろう。そんな事を感じたりします。

今加速度的に進化するAI（人工知能）やロボットにより、10年後、20年後には職業形態が大きく変わってくると言われています。オトメーション化が進み、車の自動運転化も目の前に来ている現在、ロボットなどに取って代わられる業種も多く指摘されています。

野村総研が600種の職業について「10~20年後、AIやロボットが代わりに業務を担っている確率」を試算したデータが有ります。それを見ますと代替率の高い職業は、運転士・事務職員・工場作業員など、比較的単純で繰り返し作業が多く、かつ高速化すると効率がアップするものが筆頭となっています。機械なら疲れることなく、24時間働けると言う事でしょうか。もう少し幅広く見ると決まったフォーマットに数字や文章を考え入れて行く仕事も、近い将来、学習機能が有るAIでカバーされる可能性が高い様です。

逆に残る仕事は、先生・コンサルタント・美容師など単純作業でない職種です。これらの特徴は「人間の感情」「創造性」「教育」の根ざしている点です。AIやロボットがどんなに進化しようとも、0から1を作り出す仕事や、人の感情や趣味趣向に寄り添い、何かを提案する事は難しい事だと思います。特に人を育てる先生のような仕事は人間にしかできないのではないのでしょうか。

今の小中学生が大人になる頃は、世の中は劇的に変化しているかもしれませんが。でもどんな時代になろうとも、人の心・気持ちは機械には取って変えられないと思います。無くなるかもしれないと言われる職業も、「人のためになるかどうか」そんな事を考え創意工夫をして行けば、新しい形で発展して行くのではないのでしょうか。これから未来を背負っていく子ども達に大いに期待したいと思います。

<幹事報告>

<例会変更>

高山中央 … 10月8日(月)は、体育の日のため 休会
10月29日(月)は、濃飛グループIM開催のため
28日(日)10:00~高山グリーンホテルに変更

<受贈誌>

高山中央RC(会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	31名	1	32名	40名	80.00%
本日	26名	-	26名	40名	65.00%

<本日のプログラム> 東山中学出前講座報告

青少年奉仕委員長 田中 晶洋

本日は東山中学校での出前講座に講師としてご参加いただいた14名の皆様、大変お疲れさまでした。また例会という事で出前講座の様子を見に来ていただいた会員の皆様もありがとうございました。

私も各教室を拝見させていただきましたが、大人の私も感銘するお話を聞かせていただき、中学生のキャリア教育に資する取り組みであると改めて感じました。報告を下屋さん、高桑さん、田中武さん、塚本さん、どうぞよろしくお願い致します。



下屋 勝比古

東山中学校での出前講座の講師を務めさせていただきました。

開会の前、岡田さんに「生徒が400名くらい減っているんですけど」とお話をしたら、具体的にいつが何人で今はどうなのか?と質問され早速調べました。



詳細は省きますが、高山市全中学生徒数について平成20年度は2851名、27年度は2835名だったのが今年度は2374名、3年前と461名の減少です。昨年度から230名が減り、東山中では昨年より40名が減りました。あと、6年後は430名減少が予測されています。

インスピレーションになろう

例会報告

さて、分科会に分かれ2講義(40分)を行いました。私のクラスは女子7名。主に運動部所属の生徒さんでしたので、治療に来たことのある生徒もいて部活の話を中心に気持ちの入った40分となりました。テーマは「虹を追いかけて」。人生晴れた日もあれば雨の日もある。雨は恵みをもたらすが、運動会が中止になるし、突然大雨が降ると災害を招くこともあるからあまり好きではない。でも、雨はずっと続くわけではなく、晴れてくればきれいな虹が出ることもある。つまり困難や苦労のあとには、きっときれいな虹を見ることが出来る。虹を見るためには後ろから強い日差しが必要であり、多くの仲間や保護者先生や初回のみんなのおかげで照らされていることを感じてほしいとエールを送りました。

私の中学生のころは、大人にかかわることが少なかったのですが、「感謝」とか「助け合い」など決まったキーワードを話す大人ではなく、自然な言葉で少しでもいい感動を持って行けたら有意義な時間であったのかなーと思いました。準備をしていた田中(晶)さんにはお忙しい中ありがとうございました。また荘川でも頑張ります。



田中 武

久しぶりに出前講座に行かせて頂きました。私のタイトルは、日本の和風住宅と言うことで話をさせて頂きました。

私が一番言いつたことは、最近の建物は確かに機能性、機密性等褒めるところは沢山ありますが、昔から大工さん

んがこつこつとやってきた本木造住宅は全ての機能を、備えています。特に地元の大工さんは在来工法で手間も惜しみなく(中には職人気質で融通が効かない人もいますが、昔は特においしかったです)自分の腕だけで自慢げに語り心の通った建物を造ります。生徒たちには大工さんの七つ道具ではないですけども、板図面1枚、墨壺、墨差し、差金、尺竿等だけで家を建てた事、昔は今のように機械も無く全部手作業で造ったこと(生徒たちビックリ)、そして日本で一番古い木造建築は法隆寺の五重の塔(1400年前)白川郷の合掌造り(830年前)等、歴史で勉強していた生徒もいました。嬉しかったです。

そして鉄骨造、鉄筋コンクリート造は戦後のものが多く、木造建築の建物が一番丈夫なことが分かります。なぜか?木は呼吸しています。100年間で育った木は100年は持つと思います。土壁も呼吸しています。昔の材料は自然の物が多く人間の身体に合っています。

事前的に貰っていた質問事項(17項目)全部話は出来ませんでした。其中で、大切にしていることは?昔と今の違いは?家一軒建てるのに幾ら位お金が掛かるのですか?木材は一軒にどの位入るのか?働く喜びはなんですか?=(何も無い所から有を生む楽しさ、そして出来上がった建物にお客様から喜んでもらえること等)まだ他に有りましたが出来るだけ答えて来ました。

最後に、人間は生きているのではなく生かされているのです、全てのことに感謝して精一杯生きることが私たちに与えられた使命です。みたいなことを言ってきました。生徒たちは真剣に聞いてくれてメモを沢山取ってくれていました。今後何かの役にたつてくれることを願っています。



高桑 光範

今回の講座では「働く意味」について生徒の皆さんと考えてみました。何のために働くのだろうか?ということ

まず、一人ひとりに尋ねてみました。当然出てくるのは「お金」を稼ぐためという答えです。でも、富豪と言われる人は使い切れないほどのお金があるのに、それでも精力的に働き続ける。ボランティアをやる人は、あまりお金が入ってこなくてもイキイキと働いている。どうやら「お金」だけのために働くのではなさそうだ、「働く」=「お金」+「何か」ということだ、と考えました。

「何か」とは一体何だろう?その後、生徒さんたちと話し合っていく中で、「何か」とは「充実感」ということではないか、という結論に至りました。「働く」とは、「お金」を稼ぐ手段であると同時に、「働く」ことでしか得られない人生の「充実感」を味わうための手段であるということです。「働く」ことは人間の本能であり、生き甲斐だということです。それがなければ実に退屈な人生を送ることになってしまう、ということをお話してもらいました。

マネジメントの神様と言われる「ピーター・ドラッカー」の名言を一つ紹介しました。ドラッカーは、自分の「強み」「仕事の仕方」「価値観」という3つの問題に答えが出れば、素晴らしい仕事ができる、最高のキャリアを積むことができる、その人にとって最高の生き方となる、と言っています。何事かを成し遂げるのは「強み」によってであり、弱みによって何かを行うことはしない。つまり、弱みを改善するのではなく、「強み」を伸ばすことに集中しなさい、ということです。「仕事の仕方」とは、一人でやるのか、大組織でやるのか、どちらが得意か。あるいは上に立つのか、補佐役に徹するのか、どちらで力を発揮できるか、ということです。「価値観」とは、「人のつながり」「達成」など、自分が大事にしたい信念のようなものです。

そんなドラッカーの言葉を引用して、生徒の皆さんには、毎日を漫然と過ごすのではなく、自分の「強み」を見つけて、さらにそれを伸ばして行って、悔いのない最高に楽しい人生を過ごしてほしい、とエールを送り、講座を閉じさせていただきました。

塚本 直人

9月14日の午前中に東山中学校において出前講座を行いました。今回は40分程度の授業を2回受け持ち、それぞれ約5から6人の生徒たちに対して職業について話をしました。

レジュメを用意して話をすると話すことを忘れないので、良いと思います。自己紹介から始め当社の会社案内を使い保険のごとについて説明しながら、職業についての私の思いを伝えました。

現在の中学生はとてもまじめな印象で、素直な生徒たちにきちんと伝えることができたかどうか不安な面はありますが、一生懸命に聴いてくれてありがたかったです。私が特に伝えたかったことは、「楽な仕事よりも、苦労した仕事のほうが、喜びが多い。」ということです。51歳になった今、実感することですが、楽を目指して、苦労を避けても、いつか必ず大変なことはやってくるのです。だからこそ、最初から大変な仕事を選んでおけば、おそらく間違いのない選択になるのです。

自分のいろいろ失敗した人生を振り返り、若い生徒たちに話をしました。こちらのほうが勉強させていただきました。東山中学校のみなさんありがとうございました。



インスピレーションになろう

例会報告



<ニコニコボックス>

●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

本日は東山中学校の出前講座という事で、講師の皆さん、講師でなかったですか来ていただいた小森さん井辺さん有難うございました。皆さんの真剣に子どもたちと向き合う姿に感激しました。来月には荘川中学校での出前講座があります。こちらの方も宜しく願います。

●田中 晶洋さん

本日は東山中学校での出前講座を多数ご参加頂きありがとうございます。また講師の皆様お疲れさまでした。中学生の子供達が目をキラキラ輝かせながら聞いていたのが印象的でした。次回は10月23日荘川中学校ですので、今回講義出来なかった方も次回は是非お願い致します。

●狭土 貞吉さん

皆さん今日はご苦労様でした。次回より2回欠席しますがメイクアップはする予定ですのでよろしくお願い致します。

●平 義孝さん、田近 毅さん、斎藤 章さん、田中 武さん、下屋 勝比古さん、大村 貴之さん、田邊 淳さん

本日は「東山中学校出前講座」お疲れさまでした。将来、高山で活躍が期待される飛1年生にとって、キャリア教育の良いチャンスであったと思います。働くことの意義や喜びを伝えるために、これからも積極的に関わっていきましょう！！



インスピレーションになろう